

aiimeguyuu さんの体験記第 10 話です。

当分治らないと宣告された私は絶望の淵にいた。
朝もますます起きられなくなって、昼ぐらいに起きるようになった。
薬を飲むので赤ちゃんへの影響から断乳も余儀なくされた。
唯一母らしいことをしていたことをとられたとの思いでまた泣いた。
でも、先生も母も許してはくれなかった。
私は休むのが仕事で育児はまったくしなくてよくなった。
夜中の授乳も気になりながらも母が暗闇の中ミルクを作ってやってくれていた。
私はそれを見ているだけ。
ミルクを買う量もぐっと増えた。でも僕は何の違和感もなく元気に飲んでいた。
またお金がかかる。そう思ったけど、生活の一切を両親に引き受けてもらっている今、
その金額はたいしたものではなかった。
朝とも昼ともいえない食事をとり、つまらない TV をみる。
このころから不眠症にもなり、夜中ネットサーフィンでうつ病の記事や書き込みを探す。
一日の大半を布団の上で過ごし、情けないとぼろぼろ涙が出る。
旦那が毎週末訪ねてきてくれるようになった。子供の世話をし、散歩など外出もさせてくれる。
私はパジャマから着替えることもなく、一歩も外には出なくなった。

(続く)